

## 船舶事故調査報告書

令和3年8月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）

委員 田村 兼吉

委員 岡本 満喜子

事故種類	転覆
発生日時	令和2年11月17日 06時30分ごろ
発生場所	青森県 <small>はしかみ</small> 階上町 <small>おつこし</small> 追越漁港東方沖 大蛇港外北防波堤灯台から真方位078° 4.2海里（M）付近 （概位 北緯40° 29.2′ 東経141° 44.5′）
事故の概要	漁船第二十八 <small>しやうえい</small> 正栄丸は、航行中、プロペラ点検口から浸水して転覆した。 第二十八正栄丸は、主機等に濡損を生じた。
事故調査の経過	令和2年11月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質、 機関、出力、進水等	漁船 第二十八正栄丸、2.5トン AM3-21424（漁船登録番号）、個人所有 9.01m（Lr）×2.52m×0.82m、FRP ディーゼル機関、134kW（動力漁船登録票による）、平成25年1月23日
乗組員等に関する情報	船長 62歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和63年5月6日 免許証交付日 平成29年6月6日 （令和5年5月5日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	主機等に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、たこ籠漁の目的で、令和2年11月17日05時46分ごろ追越漁港を出航する際、常設している係船錨の錨索に付けていたブイロープがプロペラに絡んだ。 船長は、後部甲板のプロペラ点検窓区画にあるプロペラ点検窓を開けてブイロープを切断した後、05時55分ごろ追越漁港東方沖合の漁場に向けて出港した。

	<p>船長は、06時20分ごろ機関室のビルジ高液面警報が鳴ったので、機関室を確認したところ、浸水を認め、機関を中立にするとともにビルジポンプを始動してビルジの排出を開始し、僚船に自船の浸水状況及び救援を要請する可能性があることを無線で連絡した。</p> <p>本船は、06時30分ごろ機関が停止し、その後水船状態となって転覆した。</p> <p>船長及び乗組員は、転覆した本船に上がり、06時32分ごろ来援した僚船に救助された後、船長が携帯電話で本事故の発生を海上保安庁に通報した。</p> <p>本船は、別の僚船によって追越漁港にえい航されたのち上架された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、本事故後にプロペラ点検窓を閉め忘れたことに気付いた。</p> <p>本船のプロペラ点検窓区画は、寸法が縦約45cm 横約40cm 深さ約50cm であり、ふだんプロペラ点検口に取り付けられている直径約20cm のプロペラ点検窓を開けた場合、同区画の上端から約25cm 下まで浸水していた。</p> <p>プロペラ点検窓区画の船首側区画は、バッテリー室となっていて、同室には喫水線下に油圧ホース及び電線を機関室に通す目的で直径約3cm 及び4cm の貫通孔がそれぞれ設けられていた。</p> <p>本船の喫水は、本事故当時、船首約0.5m、船尾約1.2mであった。</p> <p>船長及び乗組員は、救命胴衣を着用していた。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、追越漁港東方沖において、船長がプロペラ点検窓を閉め忘れた状態で航行したことから、プロペラ点検口から流入した海水がプロペラ点検窓区画を越えて機関区画に浸水して転覆したものと考えられる。</p> <p>浸水は、点検窓が開いた状態で航行したことから、喫水が深くなり、滞留量が増えてプロペラ点検区画を越えて機関区画に至ったものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、追越漁港東方沖において、船長がプロペラ点検窓を閉め忘れた状態で航行したため、プロペラ点検口から流入した海水がプロペラ点検窓区画を越えて機関区画に浸水して転覆したものと考えられる。</p>
<p><b>再発防止策</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え</p>

	<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、プロペラ点検窓を開放して作業を行った場合は、作業終了後に同窓を確実に閉鎖すること。</li></ul>
--	---

付図1 事故発生場所概略図

